

人口総数	66,652	世帯数	18,641
男	31,888	面積	16.07km ²
女	34,764		

芦屋市民憲章

わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきずきましよう
- 自然の風物を楽しみ、まちを緑と花でつつみましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

西の会下山から東の劔谷に連なる背山の緑。市はこの緑を守り育てるため、会下山、城山、前山、市霊園、劔谷のそれぞれの整備計画を総合調整して一本の緑の帯にするという、芦屋山ろくグリーンベルトの構想もっています。

グリーンベルトの一角をしめる前山では、自然の緑を生かした「前山公園」の造成工事を進めていきましたが、このほどその第一期工事が完成し、市民の新しい憩いの場として目見得しました。

前山公園は奥山浄水場と市立声 遊歩道、階段、よう壁、排水施設屋敷、甲南高校に囲まれた面積 の工事など、造成工事を主体としおよそ一万五千五百平方メートルの公園 第一期工事を続けていたもので、そのうち一万三千六百平方メートルは国有林の払い下げを受け、残り第一期工事の完成で、公園内には千九百平方メートルは共有山を借り、はそれぞれ高さの違った三つの広場ができました。その一つは園内の斜面の松林や自然林をそめて一番高い所、つまり水道の最高地点、一月から広場の造成と整地、区配水池の東側にできた約九百五

「前山公園」第一期が完成

緑の中に広場と遊歩道

十平方メートルの広場で、市街地の展望が開けたことには引き続き展望台の建設とばかりかかります。そして公園の入口付近にあたる中段に九百平方メートルの広場、その下に五百平方メートルの広場が、階段上に並んだ三つの広場はすべて遊歩道(階段)で結ばれ、また自然林の中には自由に散歩を楽しんでいただける遊歩道があります。なお、市では四十五年間に第二期工事として、これらの広場にふ



仕上げを急ぐ「前山公園」

北側の駅前通り(崇信幼稚園東から西宮市境間)に管径五センチから二十五センチ、延長約千七百メートルの下水管を、電々公社のケーブルやガス管理と平行して布設する工事に着手します。しかし、この下水管は下流管(国鉄の側)と接続しなければなりませんので、国鉄の下を横断する工事が終わる四十五年度末までは供用できません。

学校では改修や化粧変えの工事で、テニスコート二面、バレーコート二面を含む七千五百五十平方メートルの校庭の表土を入れ替え、整地するとともに、排水そうや暗きよを築造するなど校庭の整備工事が行なわれています。また夏休み中に完成する工事としては、宮川小学校で旧鉄筋校舎南面の窓サッシ取り替え、山手小学校で給食室の内部改修と事務室の新設、市立芦屋高校で本校舎と体育館を結ぶ渡り廊下の調査工事が、それぞれ進められています。

いっぽう七月に着手した山手小学校の改修工事は、一番南側の一期校舎一、二階合わせて十教室の床、天井、壁を改修し、畳敷きだった裁縫室を床板に改修する工事が九月末完成の予定です。

市民憲章

夏期大学をのぞいてみた。暑さもなごころに耳を傾け、メモを取っていた。九割までが婦人で、それも市内の方がはるかに多い。帰って図書館へ電話してみた。四月から八月まで巡回自動車庫の利用グループが、十八グループもあつたとか。これも本を読むグループから、つれてきて、それぞれ読みたい本を借りていく母子グループだ。ついで、市民会館に聞くと同館のドアを押すのは、八割が女性で、公民館の学級や講座、でなければ他の自主グループによる勉強会やいこくる人が大半という。以上のことからいっても芦屋市の婦人が大半という。まず時間を作り出す、それをムダにせず自己を磨くために用いる、用意された機会を見のがさない、積極的に出ていく、個人の完成という目標を見失わない、立派である。芦屋市の婦人に限らず、単なる「教育ママ」、人の足を引っ張るばかりの女性であつてはくれないと願いつつ「芦屋婦人大学」が近く始まること(第三面広告)をいそいでおこう。

じだ、ベンチ、すべり台、ぶらぶら、砂場など遊具・施設の整備を予定しており、家族ぐるみで楽しんでいただける公園にしてゆきます。

完成すると国鉄以南の管きよ網は前田、清水の両町を除いてほとんど完成することになります。また、この工事とは別に、国鉄川西町で進む下水道管理工事

悪臭を追放
し尿中継所に脱臭装置
大東町のし尿中継所に脱臭装置(右写真)の新設と投入改良工事が完了しました。



歩行者を守る施設増強

歩道や防護さくなど3年計画で

昨年度、橋、上宮川、業平の各町に総延長五千八百メートルの下水道管埋設を終えた下水道事業は、四十四年度は川西町、津知町のほぼ全区域に管径六十センチから二十五センチまでの幹線、枝線を延長約五千二百メートルにわたって埋設する計画で、現在、両町の一部で工事が始まっています。この工事が

川西、津知で下水工事

市は毎年「まちの安全」を市政の重点施策として取り組み、ふえる一方の交通事故に対しては、交通安全施策の整備を進め、事故防止に力を注いでいます。とくに昭和四十一年に「交通安全施設整備法」が成立し、交通安全施設整備法が成立し、国が指定した道路は四十一年度からの三カ年で安全施設の整備が義務づけられ、本市も同法に基づき四十三年度までに歩道七百六十六メートル、防護さく九百九十四メートル、防護さく九百九十四メートル、歩道橋の設置、カーブミラー、道路標識の増設などを行なってきました。この整備事業は昨年度で終了し

市はこのほど交通安全施設整備三カ年計画案をまとめました。この計画案は、交通安全施設の整備に関する法律の改正にともない、作成したもので、本年度から四十六年度にかけて歩道や防護さくなど、車から歩行者を守るための交通安全施設を中心に整備して、事故の防止につとめることがその目的です。(左は昨年完成した岩園小西側の歩道橋)

交通事故

7月1日～31日

先月の	147	件
死者	1	人
死者	9	人
死者	854	件
死者	568	人

にわたって歩道をつくるのをほじで実施する予定です。なお、この計画案は、六月末に県へ提出しており、県の調整を経て国で計画の助成金も含めおおよそ五千万円の経費決定されます。

こんなホールです

- 舞台は①普通の舞台②はり出し舞台③三方舞台④四方舞台⑤円型舞台…と用い方で形が変えられます。
- 照明・音響ほか設備は最高です。
- 室内は黒を主調とした高尚なムード。
- 定員は舞台の形に応じて700人ないし900人となります。

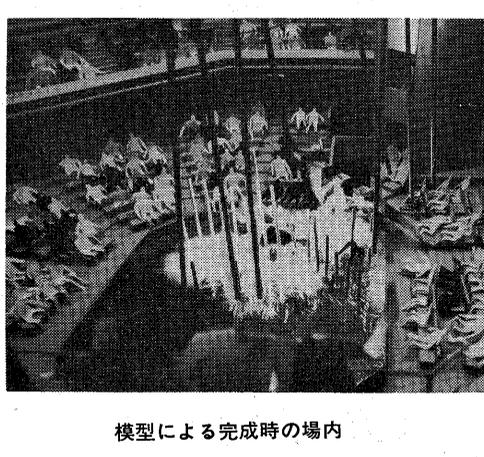
応募の方法

1. 応募は芦屋市民、芦屋在勤の人に限りです。
2. 官製はがきを使い1枚に1点。何枚でも出せます。
3. しめきり 8月20日(当日消印有効)

審査は8月下旬(同名多数の場合は抽せんで1名をきめます)

賞 入選1点…賞金10,000円 準入選2点…賞金3,000円
佳作5点…賞金1,000円

発表 9月5日発行「広報あしや」紙上



模型による完成時の場内

市民会館新ホールに

ぴったりのニックネームをつけて下さい

呼び名

大きくはないけれども、類のない特長とすぐれた設備を持つホールです。だからあなたに名づけ親になっていただき、芦屋市民にも市外の人にも知られ、親しまれ、広く活用されたいのです。

呼び名
例えは「ダイヤホール」
住所在勤の人は勤め先の氏名
年令
職業

○ 6 9 芦屋市業平町8-24
5 芦屋市民会館
ホール名係

